

研究に関するご協力のお願い

福島県立医科大学法医学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2023年 4月

福島県立医科大学医学部法医学講座 黒田直人

■ 研究課題名

側脳室前角上衣下損傷の発生要因を探索する前駆的研究

■ 研究期間

2023年4月 ～ 2023年7月

■ 研究の目的・意義

「鞭がしなう」ように頭部が前後に強く振られて生じる「びまん性軸索損傷」は、脳の軸索（神経線維）が広く損傷される重い「回転性脳損傷」です。事故や事件で頭部に受傷し亡くなった方の回転性脳損傷の診断は難しく、その検査法に改善が望まれていました。

研究責任者黒田は、頭部が前後に強く振盪された後に死亡した人の脳を調べたところ、脳の中にある側脳室の前端部付近に特徴的な所見があることを突き止め、「側脳室前角上衣下損傷」と名付けました。この損傷所見はとても簡単に観察できるのですが、その診断的価値の研究はまだ充分になされていないため、さらに広く研究される必要があります。

本研究では、

- ① 側脳室前角上衣下損傷がみられない頭部外傷解剖例
- ② 側脳室前角上衣下損傷のみられた頭部外傷解剖例

の頭部の怪我の所見を比較することによって、側脳室前角上衣下損傷を生ずるメカニズムを検討し、国内外の死因究明医に側脳室前角上衣下損傷の診断への応用性について調査するよう、学会や学術誌を通して広く呼びかけることを目的としています。

■ 研究対象となる方

2014年7月から2022年までに、福島県立医科大学医学部法医学講座で解剖されたご遺体のうち、次の条件を満たす方の脳組織標本および外傷所見を含む情報（いずれも鑑定・死因検査のために既に取得したもの）を対象とします。

I 側脳室前角上衣下損傷を伴う頭部外傷のみられた方

II 側脳室前角上衣下損傷を伴わない頭部外傷のみられた方

が対象です。

■ 研究の方法

上記1)と2)について、次の調査項目を比較することにより、側脳室前角上衣下損傷と各調査項目との関連性について検討します。

- 1) 年齢
- 2) 性別
- 3) 死因
- 4) 受傷部位
 - a) 顔面
 - b) 前頭部
 - c) 頭頂部
 - d) 左側頭部
 - e) 右側頭部
 - f) 後頭部
- 5) 頭蓋内出血
 - g) 急性硬膜外血腫
 - h) 急性硬膜下血腫
 - i) 慢性硬膜下血腫
 - j) 脳挫傷
 - k) 脳実質内血腫
 - l) くも膜下出血
- 6) 頭蓋骨骨折
 - m) 穹隆部線状骨折
 - n) 穹隆部陥没骨折
 - o) 頭蓋底線状骨折
 - p) 頭蓋底飛び骨折
 - q) 顔面骨骨折

7) 頸椎損傷

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学法医学講座であり、研究責任者は福島県立医科大学法医学講座 黒田直人です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下 誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学法医学講座で利用し解析を行います。

■ この研究に関する問い合わせについて

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

■ 試料・情報の利用を望まれない場合等の連絡先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部法医学講座 担当 黒田直人

電話：024-547-1185 FAX：024-549-3874

e-mail：legalmed@fmu.ac.jp

